

認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク

2024 年 ぱちんこ依存問題 電話相談事業 報告書【Part 1-1 : 第 1 章】

Recovery Support Network

Annual Report 2024 (2025.3.7 公開)

発行人 西村 直之
発行所 認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク



〒903-0125
沖縄県中頭郡西原町上原2丁目9-1 ルボワYARA2F
URL : <https://rsn-sakura.jp/>
e-mail : recovery-support-net@theia.ocn.ne.jp
TEL&FAX : 098-871-9671

※本書の無断使用・転載・複写を固く禁じます。

第1章 相談の基礎資料

第1章では、RSNで受けた電話相談の基礎資料の概要について示す。本報告書では2024年の集計データと併せて、2023年の集計データを比較対象として提示した。

1-1 相談件数

1年間の総件数は、3550件に

1-1-1 年間相談件数及び累計件数

2024年の1年間にRSNで受けた電話相談は、3550件であった（RSN支援室含む）。2023年の3216件から334件増加した。2006年4月の開設からの累計件数は53022件であった。

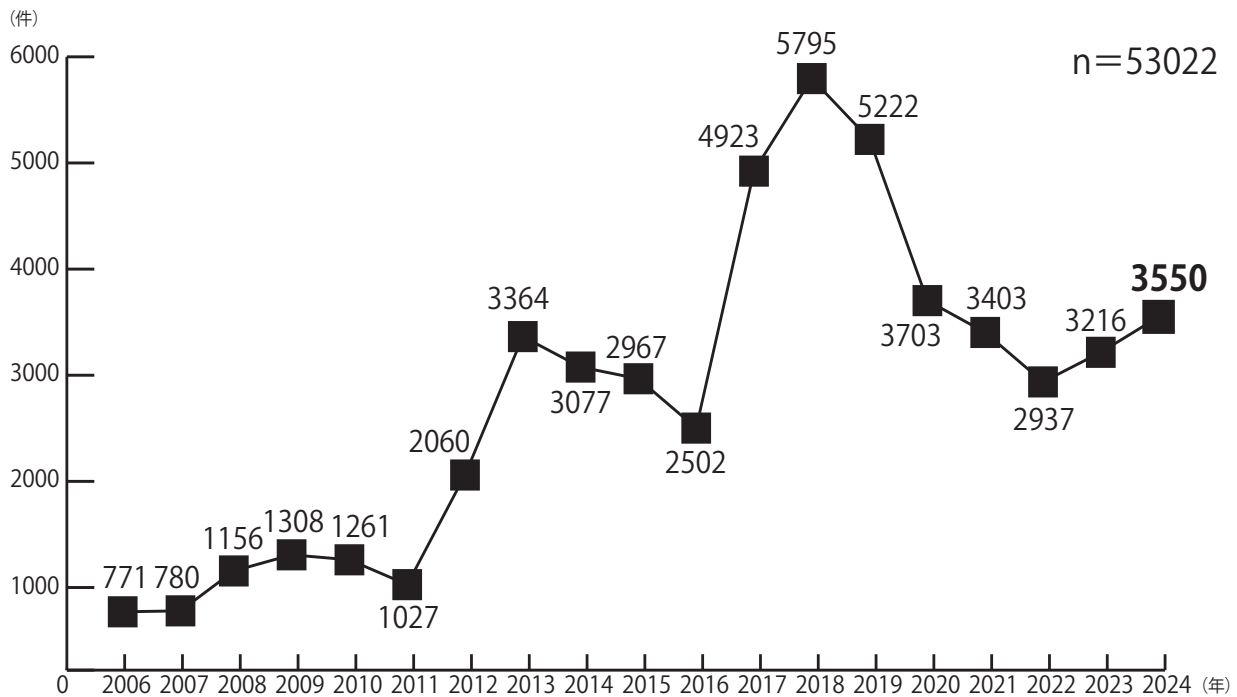


図1 年間相談件数の推移

1-1-2 月別相談件数

2024年の月別相談件数は、200件台後半から300件台前半を緩やかに推移していた。1カ月あたりの平均件数は295.8件であった。

表 1 総件数及び月別相談件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
2006				110	102	82	86	119	90	87	57	38	771
2007	93	54	71	72	68	52	50	66	93	72	56	33	780
2008	46	63	175	103	114	90	113	98	94	92	83	85	1156
2009	95	108	112	128	128	128	124	112	120	103	79	71	1308
2010	70	115	127	117	133	125	93	95	120	113	87	66	1261
2011	68	79	89	88	93	98	60	83	94	84	96	95	1027
2012	135	97	105	96	95	102	125	159	235	343	330	238	2060
2013	273	282	284	316	352	285	290	233	265	299	287	198	3364
2014	274	225	232	268	325	261	256	269	283	244	242	198	3077
2015	209	230	299	304	262	281	252	239	221	249	247	174	2967
2016	203	245	249	211	226	227	207	181	210	175	194	174	2502
2017	171	348	473	439	450	445	391	473	371	377	519	466	4923
2018	509	504	522	406	499	445	459	517	463	532	527	412	5795
2019	462	503	515	423	487	453	469	363	434	370	360	383	5222
2020	422	347	401	285	187	278	309	315	294	319	258	288	3703
2021	288	330	379	295	277	294	256	296	252	260	237	239	3403
2022	231	222	244	244	273	251	211	269	245	280	251	216	2937
2023	211	191	274	244	258	253	234	254	316	341	343	297	3216
2024	318	306	283	309	288	264	269	279	283	324	312	315	3550
計	4078	4249	4834	4458	4617	4414	4254	4420	4483	4664	4565	3986	53022

1-1-3 入電時間帯別件数

入電時間帯別件数は、日中の時間帯（10時から16時）が1769件（49.8%）、夜間の時間帯（16時から22時）が1781件（50.2%）であった。

表 2 入電時間帯

	2023年	2024年
日中	1632(50.7)	1769(49.8)
夜間	1584(49.3)	1781(50.2)
計	3216(100.0)	3550(100.0)

(表カッコ内はパーセント)

1-1-4 通話回数

電話相談を通話回数ごとに分類すると、RSNへの初めての相談（初回相談）が909件（25.6%）、2回目以降の継続した相談（複数回相談）が2310件（65.1%）であった。

2023年と比べて、初回相談は116件減少（前年比88.7%）し、複数回相談は509件増加（前年比128.3%）した。

表 3 通話回数

	2023年	2024年
初回	1025(31.9)	909(25.6)
複数回	1801(56.0)	2310(65.1)
間違い・無言・問合せ	390(12.1)	331(9.3)
計	3216(100.0)	3550(100.0)

(表カッコ内はパーセント)

1-1-5 通話時間

電話相談を通話時間によって10分ごとに分類すると、10分未満が1099件（31.0%）で最多であった。次いで10分～20分未満が942件（26.5%）、20分～30分未満が763件（21.5%）となっており、30分未満の相談が79.0%を占めた（表4）。

初回相談のみの場合、20分～30分未満が278件（30.6%）で最多となっており、次いで30分～40分未満 192件（21.1%）、10分～20分未満 191件（21.0%）であった（表5）。

複数回相談のみでは、10分～20分未満が741件（32.1%）で最多となっており、次いで10分未満が715件（31.0%）、20分～30分未満が483件（20.9%）であった（表6）。

表 4 通話時間

	2023年	2024年
10分未満	1258(39.1)	1099(31.0)
10分～20分未満	772(24.0)	942(26.5)
20分～30分未満	595(18.5)	763(21.5)
30分～40分未満	302(9.4)	423(11.9)
40分～50分未満	162(5.0)	168(4.7)
50分～60分未満	63(2.0)	67(1.9)
60分以上	64(2.0)	88(2.5)
計	3216 (100.0)	3550 (100.0)

（表カッコ内はパーセント）

表 5 通話時間 初回相談のみ

	2023年	2024年
10分未満	123(12.0)	68(7.5)
10分～20分未満	267(26.0)	191(21.0)
20分～30分未満	289(28.2)	278(30.6)
30分～40分未満	169(16.5)	192(21.1)
40分～50分未満	102(10.0)	97(10.7)
50分～60分未満	36(3.5)	31(3.4)
60分以上	39(3.8)	52(5.7)
計	1025 (100.0)	909 (100.0)

（間違い・無言・問合せ除く。表カッコ内はパーセント）

表 6 通話時間 複数回相談のみ

	2023年	2024年
10分未満	764(42.4)	715(31.0)
10分～20分未満	491(27.3)	741(32.1)
20分～30分未満	303(16.8)	483(20.9)
30分～40分未満	131(7.3)	230(10.0)
40分～50分未満	60(3.3)	70(3.0)
50分～60分未満	27(1.5)	35(1.5)
60分以上	25(1.4)	36(1.6)
計	1801 (100.0)	2310 (100.1)

（間違い・無言・問合せ除く。表カッコ内はパーセント）

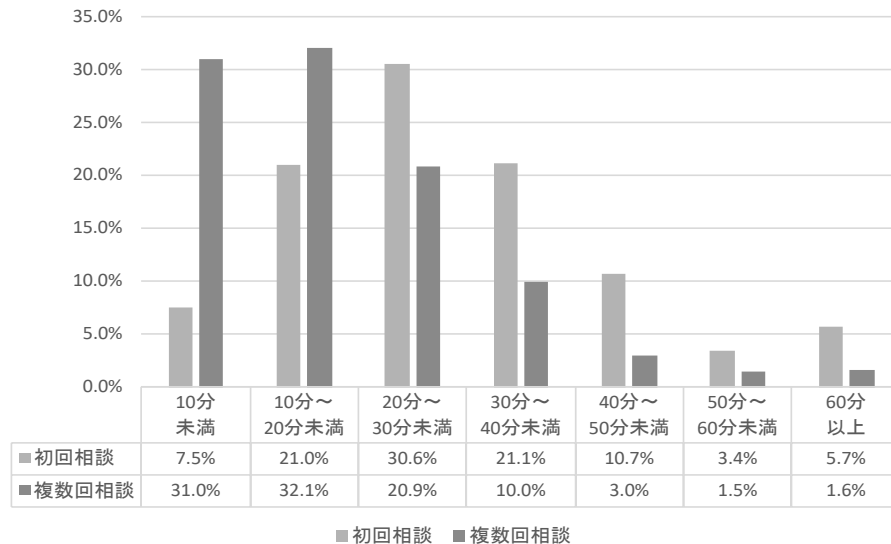


図 2 2024年 通話時間 割合比較 初回／複数回

1-1-6 都道府県別相談件数

この項は、初回相談のみを抽出した集計結果を提示する。

2015年から2018年の相談件数には、RSNで受けた相談件数に加え、全商協RSN支援室での対応件数も含まれている。そのため、RSNと全商協の双方に相談した者については、重複してカウントされている可能性がある。

なお、都道府県の人口を考慮した統計処理は行っていない。

表 7 年別 都道府県別相談件数

都道府県	年	2006~ 2020	2021	2022	2023	2024	総計
北海道		1057	56	45	39	52	1249
青森		255	7	10	13	10	295
岩手		238	8	5	10	5	266
宮城		660	36	27	35	19	777
秋田		181	8	10	4	6	209
山形		177	19	4	7	5	212
福島		465	25	26	16	18	550
茨城		540	33	25	24	14	636
栃木		336	18	18	15	16	403
群馬		410	28	14	15	13	480
埼玉		1493	74	66	56	46	1735
千葉		1380	75	64	64	46	1629
東京		2675	145	154	102	93	3169
神奈川		1751	82	70	65	63	2031
新潟		435	34	26	18	8	521
富山		169	11	6	6	17	209
石川		161	16	3	9	10	199
福井		96	6	8	7	3	120
山梨		149	6	9	6	5	175
長野		477	20	19	13	11	540
岐阜		370	23	24	13	16	446
静岡		946	35	30	22	22	1055
愛知		1487	79	54	63	66	1749
三重		352	26	15	18	10	421
滋賀		208	10	7	14	7	246
京都		411	17	21	17	15	481
大阪		2109	126	84	73	65	2457
兵庫		1013	47	38	28	26	1152
奈良		231	5	9	6	8	259
和歌山		143	4	8	4	5	164
鳥取		81	2	2	5	3	93
島根		132	2	4	2	0	140
岡山		380	31	14	13	7	445
広島		673	37	15	24	16	765
山口		259	12	7	8	10	296
徳島		117	8	5	6	7	143
香川		229	14	4	6	6	259
愛媛		254	18	16	11	4	303
高知		91	4	7	2	4	108
福岡		1154	60	56	36	48	1354
佐賀		176	7	9	4	3	199
長崎		316	17	6	7	6	352
熊本		393	19	14	19	17	462
大分		264	8	7	8	7	294
宮崎		354	16	11	9	11	401
鹿児島		454	16	16	9	12	507
沖縄		913	23	14	17	16	983
国外		5	0	0	0	1	6
不明・拒否		2747	164	113	57	31	3112
計		29367	1537	1219	1025	909	34057

(初回のみ)

1-2 相談の内容

「当事者に対する感情」を「話したい」が80.2%

RSNでは、電話相談の内容を分類する際に、相談者から相談員に感情を吐露する「話したい」と、相談者が相談員から情報を得たいとする「知りたい」の二つに大別している。前者は感情のアウトプット、後者は情報のインプットに相当する。

本項「話したい内容」及び「知りたい内容」は、1回の電話相談中に複数の話したい／知りたい内容が含まれる場合があるため、その全てをカウントし複数回答としている。

1-2-1 話したい内容

間違い・無言・問合せを除く3219件のうち「話したい」に分類される相談内容の中では、自身や家族・友人に対する感情をアウトプットする「当事者に対する感情」に該当するものが2583件と最も多く、相談全体の80.2%であった(表8)。

初回相談909件のうち「話したい内容」に該当する相談(複数回答含む)は、439件(48.3%)で、初回相談のみでも、「当事者に対する感情」が370件(40.7%)となっており、最多であった。(表9)。

複数回相談2310件でも、「当事者に対する感情」について話したい相談(複数回答含む)が、2213件(95.8%)で最多であった(表10)。

表8 話したい内容

	2023年 (n=2826)	2024年 (n=3219)
ホールに関する苦情	28(1.0)	31(1.0)
遊技業界に関する意見	21(0.7)	39(1.2)
RSNへの意見	5(0.2)	16(0.5)
グチ	15(0.5)	26(0.8)
当事者に対する感情	2020(71.5)	2583(80.2)
お礼・激励	3(0.1)	25(0.8)
その他	20(0.7)	23(0.7)

(間違い・無言・問合せ除く。複数回答。表カッコ内はパーセント)

表9 話したい内容 初回相談のみ

	2023年 (n=1025)	2024年 (n=909)
ホールに関する苦情	23(2.2)	27(3.0)
遊技業界に関する意見	18(1.8)	19(2.1)
RSNへの意見	5(0.5)	4(0.4)
グチ	9(0.9)	11(1.2)
当事者に対する感情	329(32.1)	370(40.7)
お礼・激励	0(0)	0(0)
その他	4(0.4)	8(0.9)

(間違い・無言・問合せ除く。複数回答。表カッコ内はパーセント)

表10 話したい内容 複数回相談のみ

	2023年 (n=1801)	2024年 (n=2310)
ホールに関する苦情	5(0.3)	4(0.2)
遊技業界に関する意見	3(0.2)	20(0.9)
RSNへの意見	0(0)	12(0.5)
グチ	6(0.3)	15(0.6)
当事者に対する感情	1691(93.9)	2213(95.8)
お礼・激励	3(0.2)	25(1.1)
その他	16(0.9)	15(0.6)

(間違い・無言・問合せ除く。複数回答。表カッコ内はパーセント)

1-2-2 知りたい内容

間違い・無言・問合せを除く3219件のうち「知りたい」に分類される相談内容の中では、「やめる方法」又は「やめさせる方法」が753件となっており、相談全体の23.4%であった。次いで多かったのは「適度に遊ぶ方法」の203件で、相談全体の6.3%であった(表11)。

初回相談のみ(複数回答含む)では、「やめ(させ)る方法」が588件(64.7%)と最多で、次いで「適度に遊ぶ方法」が139件(15.3%)であった。初回相談の8割が、やめ(させ)る方法や、適度に遊ぶ方法など、ぱちんこの向きあいかたに関する方法の相談となっていた(表12)。

複数回相談のみ(複数回答含む)では、「やめ(させ)る方法」が165件(18.2%)で最多で、次いで「適度に遊ぶ方法」が64件(2.8%)、「その他」が46件(5.1%)となっていた。

「その他」の項目は、主だった項目に該当しない何らかの知りたい内容の場合となり、「ぱちんこをせずにいる際の日々の過ごし方」などがこれに該当する(表13)。

表 11 知りたい内容

	2023年 (n=2826)	2024年 (n=3219)
やめ(させ)る方法	724(25.6)	753(23.4)
適度に遊ぶ方法	180(6.4)	203(6.3)
生活の立て直し方	36(1.3)	42(1.3)
借金の返済方法	22(0.8)	19(0.6)
地域の相談先	36(1.3)	43(1.3)
当事者への接し方	55(1.9)	83(2.6)
依存症について	13(0.5)	33(1.0)
その他	48(1.7)	85(2.6)

(間違い・無言・問合せ除く。複数回答。
表カッコ内はパーセント)

表 12 知りたい内容 初回相談のみ

	2023年 (n=1025)	2024年 (n=909)
やめ(させ)る方法	613(59.8)	588(64.7)
適度に遊ぶ方法	128(12.5)	139(15.3)
生活の立て直し方	27(2.6)	29(3.2)
借金の返済方法	20(2.0)	14(1.5)
地域の相談先	33(3.2)	31(3.4)
当事者への接し方	52(5.1)	70(7.7)
依存症について	10(1.0)	31(3.4)
その他	27(2.6)	39(4.3)

(間違い・無言・問合せ除く。複数回答。
表カッコ内はパーセント)

表 13 知りたい内容 複数回相談のみ

	2023年 (n=1801)	2024年 (n=2310)
やめ(させ)る方法	111(6.2)	165(7.1)
適度に遊ぶ方法	52(2.9)	64(2.8)
生活の立て直し方	9(0.5)	13(0.6)
借金の返済方法	2(0.1)	5(0.2)
地域の相談先	3(0.2)	12(0.5)
当事者への接し方	3(0.2)	13(0.6)
依存症について	3(0.2)	2(0.1)
その他	21(1.2)	46(2.0)

(間違い・無言・問合せ除く。複数回答。
表カッコ内はパーセント)